

7/3
(月)

第26回子ども芸術劇場 親しみ、芸術から学ぶ

7月3日～5日までの3日間、獅子島アイランドセンター、開発センター、町文化ホールで、一般社団法人劇団さんぽ（福岡県）による第26回長島町子ども芸術劇場が開催されました。

これは、町内の未就学児を中心に芸術への親しみを育むために例年行われており、各会場には多くの来場者が訪れ盛り上がりを見せていました。

今回の題目は「オオカミ君のパン」で、動物たちが住む森でオオカミ君がパン屋を開業するストーリー。同劇団の藤井美幸さんは「演劇をと

演劇に集中する子ども達



して子どもたちに自分らしく生きることの大切さを学んでもらえたら」と話しました。

7/6
(木)

マルイ農業協同組合が寄贈 より良い図書館へ

7月6日、鷹巣小学校（田畠正英校長・197人）にマルイ農業協同組合（出水市・高松信吾代表）が行っている図書寄贈事業「マルイふるさと文庫」の贈呈がありました。

図書委員会委員長の小川凛人さん（6年）は「本は、私にとって大切な存在。今回いただいた本も面白そうな本ばかりでワクワクしています。大切にしたいです」とお礼の言葉を述べました。

これは、同組合が企業のあり方を考えながら地域に貢献していくことを目的に行っており、町小

好きな本を手にする児童ら



学校への寄贈は3年目を迎えます。今年度は蔵之元小学校にも寄贈され、今回で町内全ての小学校に寄贈されたこととなります。

7/8
(土)

小中学校管理職講演会 より良い社会を作る

7月8日、役場指江支所で県教育庁義務教育課の水島淳課長による、管理職の立場から児童生徒らの教育環境が向上することを目的とした講演会が開催されました。

この日は、町内の小中学校の管理職である、校長・教頭らが参加しました。

デジタルを活用した適正な教育方法とこれに伴う管理職の取るべき方策や子どもの非認知能力育成の重要性などの講義が行われました。

参加者を代表して長島中学校の石垣健二校長が「本日の学びを持ち帰り教職員と共有して、理

壇上に立つ水島課長



解を深め、今後の教育に生かしていきたい。本日はありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。